



隊友四街道支部便り



令和6年7月号 支部事務局
副支部長：奥村 (090-8728-7838)



【昨年引き続き 現職自衛官と支部会員との交流会を開催！】



西本副校長の講話を聴く会員



筒井支部長による隊友会の説明

支部は6月22日(土)下志津駐屯地において、現職自衛官と支部会員の約30名が参加した交流会を昨年に引き続き実施しました。当初、高射学校副校長西本1佐から「高射特科部隊の現状と将来」について説明を受け、安全保障政策の大きな転換点にある現在の国内外情勢、高射特科部隊の体制、装備品の今後の趨勢等について概要説明を受け、今後の支部活動の資を得ることができました。その後、筒井支部長から「隊友会の概要」を中隊長及び先任上級曹長等13名に対して説明し、入会する意義、具体的なメリット等を理解して頂きました。自身のみならず、今後の隊員指導の参考にして頂けたらと考えています。

「国全体の防衛体制の強化」が国家防衛戦略に明記される時代、新たな次元を迎えた自衛隊と国民をつなぐ真の意味での「かけ橋」を実現するためにも、現役自衛官との強固な信頼関係を築く施策を今後とも積極的に取り組んで参ります。

「令和6年版防衛白書」が刊行されました

令和6年版防衛白書は、国家安全保障戦略などの三文書を踏まえ、増額した防衛予算を使って進めている「防衛力の抜本的強化」の進捗、すなわち、わが国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様について、1年間での変化を丁寧に記述しています。

また、令和6年は、自衛隊発足70周年であるとともに、令和6年版防衛白書は、初版から数えて刊行50回目の節目となるものです。そのため、巻頭に、わが国を取り巻く情勢の変化と、それに対応できるよう歩みを進めてきた防衛省・自衛隊の70年の歴史を防衛白書とともに振り返る特集を設けました。今回の表紙は、「刀鍛冶」をコンセプトとしています。防衛省・自衛隊は発足以来、「刀を抜かないために」必死で刀を鍛えてきました。すなわち、抑止力となる刀を鍛え上げ、わが国に対する武力侵攻を未然に防いできました。自衛隊発足70周年の節目にあたり、国家安全保障戦略などを踏まえ、わが国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様と、今後またゆまぬ努力を続ける決意を表現しています。

令和6年版 日本の防衛
防衛白書



防衛省

各種イベント案内及び皆様へのお願い！

○下志津駐屯地「サマーフェスタ」(夏祭り・花火大会)

8月6日(火)に開催されます。昨年に引き続きの一般開放です、是非ご参加下さい。

○恒例の秋の下志津駐屯地環境整備(「鎮の庭」)について

今年も千葉県殉職者慰霊式が10月に実施される予定ですが、これに先立ち、9月下旬(実施日未定)に「鎮の庭」の整備を予定しています。今回も四街道支部会員の多くの皆様のご参加をお願い致します。

次回の役員会：8月17日(土) 0900~1000 ※大日董橋台区自治会館